

空き家の遺品整理と売却・活用を同時に進める方法

項目	チェック
① 空き家の現状確認と目標設定	
不動産名義・登記状況を確認したか	☐
建物の老朽化や設備の状態を確認したか	☐
売却・賃貸・管理委託のいずれを目指すか決めたか	☐
相続人間で空き家の活用方針を共有したか	☐
② 遺品整理と不動産活用の並行計画	
売却・活用に支障のある家財の有無を確認したか	☐
リフォーム・原状回復の必要性を判断したか	☐
不用品と残す物の選別を終えたか	☐
不動産会社と連携して片付けの優先度を相談したか	☐
ハウスクリーニングや庭木剪定の予定を立てたか	☐
③ 活用に向けた実務対応	
不動産会社・管理会社・司法書士などに相談したか	☐
売却・賃貸に向けて写真撮影・広告準備を進めたか	☐
空き家バンクや地域の支援制度を確認したか	☐
継続的な管理（防犯・通風・郵便物）体制を整えたか	☐
活用後の収支計画や納税対応を確認したか	☐